

棚田発！日本のこころプロジェクト

代表者 野田 聖（農学部応用生物科学科二年）

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、小豆島中山地区の伝統ある棚田の景観や棚田米の素晴らしさをより多くの香川大学生、香川県民に知ってもらう事を目的としています。小豆島中山地区の棚田は全国棚田百選に選ばれており、持続させるべき文化的景観として注目されています。しかし近年、耕作者の高齢化により耕作放棄地が増加しているため景観の保全が大きな課題となっています。そこで、私たちは自ら中山地区での稲作に関わることで得た経験や棚田ならではの耕作体験を様々な人に伝え、小豆島地域中山地区の棚田保全と地域振興を目指しています。また、収穫祭や地域行事で実際に収穫した棚田米を配布することで棚田米の魅力を発信しています。

2. 実施期間（実施日）

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業は、例年の活動を基に継続、発展させたものです。お借りした棚田の一部での耕作活動に加え、水路掃除や農村歌舞伎、虫送りといった小豆島中山地区の事業にも参加しました。

今年度は、昨年度に引き続き学生が中山地区の農家の方々や地域おこし協力隊の方々にご指導いただき、4月の水路掃除をはじめ、5月の代掻き、6月の田植え、田植え後の草刈り、10月の稲刈りまでの耕作作業に参加しました。田植え、稲刈りでは周辺地域の小学生を対象とした体験会を開催することで、稲作を通じた幅広い交流を実施しました。農学部収穫祭では、写真展示の形で活動報告を行ったほか、棚田米を使ったおにぎり作り、棚田米の配布を行うことで中山千枚田、棚田米両方の魅力を知っていただくことができました。

棚田における耕作体験以外にも350年以上前から伝わる中山地区の伝統行事である虫送りでは、火手の作製や、受付や案内など虫送りの運営、周辺の交通整理など地域の行事をサポートする活動も行いました。今年度は中山地区にある農村歌舞伎舞台の改修工事費用の募金への協力、虫送りでの募金の声掛けを行いました。これらの活動を通し

て、中山伝統文化の維持に貢献できたと考えられます。

また、今年度からの試みとして、杉田先生の協力のもと農学部開設授業との連携を行いました。農学部2年生を対象とし、中山地区での稲刈り体験を実施しました。実際に農業に触れる機会を提供することで、耕作への興味関心を向上できたと考えています。



小学生田植え体験



学生稲刈り

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業は、地域活性化及び文化財の保全に寄与することができました。収穫祭では、多くの地域の方々や本学生徒に中山千枚田の景観の美しさ、棚田米の魅力を発信できたと感じています。また、今年度は棚田での耕作が始まる4月には水路掃除を行うのですが、そこに参加される地域のボランティアの方々との交流を深めることができ、地域の繋がりを感ずることができました。高齢化の進む農業に対して僅かではありますが手助けとなる活動を行えたと感じます。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今年度は新入生含め新たなメンバーが増え、中山地区の農家の方々や地域おこし協力隊の方から多くご指導いただきました。中山地区の棚田では、区画整理された水田とは違い、細い道や急勾配な地形が多いため、大規模な機械を導入することが難しいため、多くが手押しの機械や手作業での耕作となりました。畔塗や泥上げといった棚田ならではの作業も行うことができ伝統ある農作を学ぶことができました。これらの耕作作業は大変な反面、非常に貴重な体験となりました。今年の虫送りでは、農村歌舞伎舞台の補修工事費募金という地域での一つの目標に全員で取り組む経験もできました。それにより、地域文化財を保全でき大きな成功体験となりました。これらの棚田の会としての活動は、多種多様な職種の方との関わりを通じた社交性の向上や課題解決能力の向上に繋がったと感じます。これらの経験は今後の学校生活や就職活動に活かすことができると感じました。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今年度の反省点として、予算配分額の200,000円に対し、執行額が102,710円と

約 10,000 円の余りが出たことにあります。主な原因として、予定してあったパンフレットの作成を来年度へ持ち越したことがあります。小豆島中山地区周辺の地図や観光地等を載せたパンフレットを作る予定でしたが、中山千枚田のすぐ側にある中山農村歌舞伎の大規模修繕工事が今年度行われることになりました。今の状態として建物全体が鉄骨等で覆われている状態であるものの、クラウドファンディングも成功し工事も進められるという事で、修繕が終わり新しくなった建物を含めて作製した方が良いとなりました。また、来年度から香川大学農学部 杉田先生との連携事業として新たな活動を展開する予定である為、マップだけでなくそれらの事業の様子を含めた活動報告としての役割をパンフレットに持たせたいと考えたため今年度予算を用いる事を見送りました。

今後の展望として、杉田先生と連携した本学学生参加型の耕作を増やすこと、現段階では稲刈りのほか田植えへの参加を考えています。今年度は昨年に比べ耕作地が増加したこと、未経験者が多かったことにより作業時間が長くなることを改善し本格的な農耕を効率的に行いたいと考えています。また、地域の方々との交流を継続し中山地区と香川大学の交流を継続も期待できます。



農村歌舞伎舞台

7. 実施メンバー

代表者	野田 聖	(農学部 2 年)			
構成員	裏住 隼矢	(農学部 4 年)	檜尾 彩奈	(農学部 2 年)	
	竹内 成太	(農学部 4 年)	金本 夕凜	(農学部 2 年)	
	見館 真緒也	(農学部 4 年)	高見 樹希	(農学部 1 年)	
	村口 絢	(農学部 3 年)	香西 徳太郎	(農学部 1 年)	
	横山 愛由	(農学部 3 年)			

8. 執行経費内訳書

配分予算額		200,000円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
火手造り 交通費	5	1,330	6,650	(-)は各自交通手段が異なるため、合計のみ記す
虫送り 交通宿泊費	-	-	18,710	
地域行事ボランティア 交通費	2	1,330	2,660	
地域行事ボランティア 交通費	2	1,330	2,660	
小学生稲刈り体験 交通宿泊費	-	-	20,230	
稲刈り 交通費	-	-	10,460	
インクカートリッジ	3	5,390	16,170	
A4 コピー用紙	1	2,519	2,519	
B5 コピー用紙	1	802	802	
インクカートリッジ	3	6,149	18,447	
割りばし	3	274	822	
紙皿	5	516	2,580	
合計			102,710	